



イベント開催 ともに目指そう、世界遺産!

# 北沢浮遊選鉱場ライブ

8月27日夜、アースセレブレーションイベントの一環として、国指定史跡「北沢浮遊選鉱場」において野外音楽イベントが開催されました(主催:佐渡市)。

午後7時に開演したライブでは、「鼓童」アルテ イ ソレラ(フラメンコ舞踏団)、「伝統音楽芸能団バックハー(ベトナム)」の3団体が、ライトアップされた遺跡を背景に、見事な演奏を披露しました。

会場は幻想的な雰囲気にも包まれ、約700名の観客は、響きわたる和太鼓の音色やフラメンコの力強いタップ、また、初めて耳にするベトナムの伝統音楽を楽しみながら、明治以後、急速に近代化の進んだ佐渡鉱山の歴史に思いを馳せていました。

また、ライブ開演前には、世界遺産推進課職員の案内のもと、北沢地区の産業遺産散策ミニツアーも行われました。



アルテ イ ソレラ(フラメンコ舞踏団)



伝統音楽芸能団バックハー(ベトナム)



鼓童(坂本雅幸・前田剛史)

佐渡鉱山の遺跡と音楽が一体となったライブ

# 相川あいかわらばん 瓦版

## 第23号

2016年9月23日発行  
 発行: 佐渡市世界遺産推進課  
 電話 0259-63-5136  
 FAX 0259-63-6130  
 編集: 佐渡市世界遺産推進課  
 新潟県教育庁文化行政課  
 世界遺産登録推進室

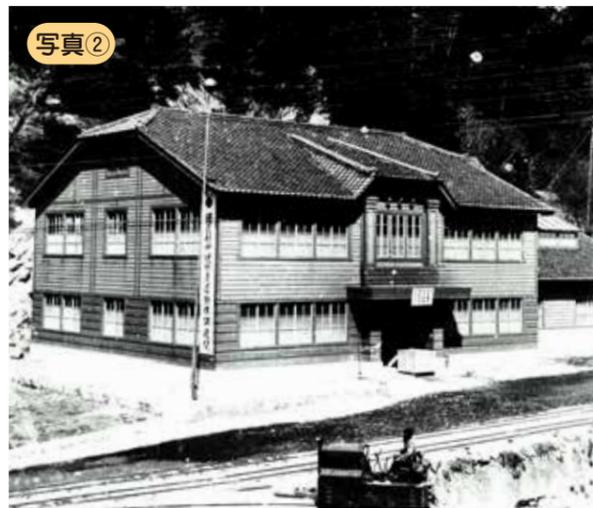
# 相川の今昔

## 北沢地区の本部鉱山事務所と 労務者浴場

明治時代から昭和10年代にかけて、浮遊選鉱場をはじめとする選鉱場や製錬場が建設された北沢地区には、工場集積をはじめとする様々な施設が建設されました。**写真①**に写る建物は、御料局時代に建てられ、三菱合資会社の佐渡鉱山本部鉱山事務所として利用された建物です。現在は出入口の門柱やトロッコの軌道が撤去されて道路となっています。**写真②**の建物は、鉱山事務所として建てられた鉱山労働者のための浴場で、現在の名誉町民資料館付近に建てられていました。佐渡鉱山ではこのような大型の浴場施設が北沢地区と高任地区の2カ所にあり、鉱山労働者の福利厚生が図られていました。



佐渡鉱山本部鉱山事務所(株ゴールデン佐渡蔵)



佐渡鉱山労務者浴場(株ゴールデン佐渡蔵)

### 10月 佐渡金銀山関連イベントの予定

イベント名	開催日時	会場	備考
佐渡金銀山でボランティア活動をしませんか?	10月8日(土) 10:15~12:00	北沢浮遊選鉱場 (佐渡市相川北沢地区)	・遺跡周辺の草刈り・清掃活動 ・無料、要申込(定員120名) ・現地集合、現地解散
佐渡金銀山首都圏講演会 「佐渡金銀山の価値を世界へ」	10月22日(土) 13:30~15:50	日本科学未来館 (東京都江東区青海2-41)	・入場無料、要申込・定員300名 ・講演(国立科学博物館学芸員 鈴木一義氏) 「鉱山絵巻に見る佐渡金銀山」ほか

申込み先・問い合わせ窓口: 新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室(電話025-280-5726)

# 今月のにゃんじー

## 第24号の予告

◆活動報告 ほか

次回11月25日  
刊行予定



## 食欲の秋

おけさ柿、新米、いちじくなどなど、秋の佐渡は味覚の宝庫です。にゃんじーは新米を使用した米粉パンケーキに夢中なようで、ここのところ毎日3食パンケーキです。パンケーキのトッピングはおけさ柿のソースと佐渡バターです。



観光客でにぎわう大通り



大溪の歴史的建造物



### 台湾の取組紹介

## 地元と大学が連携した体験学習

近年、台湾では歴史ある建物や町並みの保存活動が盛んで、日本の文化財の専門家との交流も活発です。今年7月、国立台北芸術大学が、文化財に関する人材育成のための研修会を、



右：演習で保存のあり方を考えた小路

左：演習参加者が小路の魅力を調査し、まとめた発表資料



地域住民の協力を得て開催し、台湾の学生や研究者、建築家などが参加しました。そこに講師の一人として招かれ、佐渡相川の取組みを紹介するとともに、参加者の皆さんと演習を行いました。  
会場は、台湾の老街(古い街)のひとつ「大溪」でした。大溪は、19世紀中頃に大漢溪という河川の水運で栄えた町で、明治期から昭和期にかけて日本が台湾を統治していた時代に整備された街区や建物が数多く残り、現在は観光地としても有名です。  
演習は、実際の町並みや建物を例に、台湾の大学生が中心となり、住人への聞き取り調査などを行い、保存や整備の仕方を班ごとに提案しました。ある班は小路を調査し、歴史を大切にしつつ魅力を発信していく方法を考えました。小路は、観光客でにぎわう大通りから一つ道をそれたところにある静かな住宅街にあり、歩くだけで地元の暮らしを直に感じられます。演習では、「小路から垣間見える生活風景が大きな魅力なので、今の状態を保つことが大切」「住人が少しずつ手を入れて直してきた建物や門は立派に修理しすぎてしまうと今の雰囲気が変わる」など、さまざまな意見がだされました。演習最後の発表では、魅力の要素となつている物や風景を用紙にまとめ、観光客の散策の仕方や小路の見せ方を提案しました。



①: 演習風景(小路の魅力をつくり出しているものを調査)／②: 住宅街の空き家・空き地(演習では小路に隣接する空き地の活用の仕方でも考えた)／③: 小路にある井戸と洗濯物／④: 演習風景(小路の整備の仕方を議論)



滯子…にゃんじーくん、相川にはお寺が多いと思わない？現在、佐渡全体で約270のお寺があつて、相川地区には45カ寺あるんだけど、そのうちの30カ寺が鹿伏から下相川までの相川市街地に集中しているの。江戸時代の記録をまとめてみると、相川には一番多いときで147のお寺があつたのよ。  
にゃんじー…そんなにいっぱいあるのかにゃん!!  
滯子…江戸時代の初めに鶴子銀山の奥山に大きな金銀山が発見されて、相川という鉱山町が誕生したことはにゃんじーもよく知っているわよね。その相川には、金銀山を目当てに全国から大勢の人がどっと押し寄せてきたの。山師や金掘り、商人や職人、そして徳川幕府の

直轄地となつた佐渡では、奉行所の役人もほとんどが他国から就職してきた人たちだったの。慶長から元和・寛永期までの約50年間で、相川金銀山が最も繁栄した時代で、相川には4〜5万人もの人々がひしめき合つて暮らしていたと伝わっているのよ。  
にゃん…今の佐渡市の人口と同じくらいの人が相川に住んでいたのかにゃ。  
滯子…それぞれのお寺の由緒を調べてみると、他国からお坊さんがやってきて相川に新しくお寺を開いたり、他国や佐渡のお寺が相川に末寺を建てたり、佐渡の別な場所にあつたお寺が移ってきたりしていることが分かつたの。そして、他国のどんなどころからお坊さんやお寺がやってきたのかを調べてみると、京都

や北陸など、山師や商人や金掘りの出身地と見事に一致していて驚いたわ。故郷を離れて佐渡に移り住んだ人たちにとって、先祖を供養したり、日々の生活の安泰を祈る場所として、お寺は無くてはならない心のよりどころだったのではないかしら。  
にゃん…お寺にいとなんだかほつとするにゃ。  
滯子…今はお寺が1カ寺も無くなつてしまつた上寺町にも、かつてのお寺の墓地に古い墓石が残つていたり、中寺町や下寺町のお寺の墓地に、今はもうお参りする人もいなくなつたお墓がたくさんあるのを見ると、あらためて、金銀山とともに生き、相川に骨を埋めた多くの人たちがいたことを思い起こさせてくれるわね。



## お寺が語る相川の繁栄

金銀山の歴史に詳しい滯子さんににゃんじーがお話を聞きます



妙法寺跡の墓地(相川上寺町地区)

年代	宗派							合計
	日蓮宗	浄土真宗	真言宗	浄土宗	曹洞宗	天台宗	臨済宗	
慶長期以前 (~1595)	1	-	-	1	-	1	-	3 (1)
慶長期 (1596~1614)	7	9	7	12	3	4	1	44 (17)
元和期 (1615~23)	4	12	1	7	5	-	1	30 (8)
寛永期 (1624~43)	9	4	-	4	-	1	-	18 (4)
寛永期以後 (1644~)	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	3	21	6	-	6	-	1	52 (0)
合計	24 (9)	46 (8)	14 (6)	24 (4)	14 (2)	6 (1)	3 (0)	147 (30)

相川の寺院の創建年代 ※( )内は現存寺院

滯子さんとは…世界遺産推進課の指導員。相川のお寺事情に詳しい。